資料請求・お問い合わせ先
サンメディカル株式会社
本　社／〒524-0044 滋賀県守山市古高町571-2 TEL:077-582-9980
0120-418-303（FAX共通） 電話受付時間:月～金（祝日を除く）午前9:00～午後5:30
http://www.sunmedical.co.jp

SUN MEDICAL

J020/1C

取扱説明書

歯科接着用レジンセメント

スーパーボンド

Super-Bond

SUN MEDICAL

# Super-Bond

## Dental Adhesive Resin Cement

Super-Bond is a self-cure dental adhesive resin cement based on MMA.
It contains a high performance bonding monomer, "4-META", and a catalyst, "TBB".
It shows excellent bond strength to tooth (enamel and dentin), metal, porcelain and dental resins.
For three decades it has been used extensively in a wide range of dental applications.
During this long period it has earned an excellent reputation for pulpal safety.
Super-Bond is widely known for its formation of a sound hybrid layer (resin impregnated layer) in both enamel and dentin.
This layer reinforces the tooth surface against recurrent caries and prevents the postoperative hypersensitivity.

### スーパーボンドとは

スーパーボンドはMMA系の歯科用接着材料で、成分として拡散促進（接着性）モノマー「4-META」と重合開始剤「TBB」を採用しております。

歯質（エナメル質および象牙質）、歯科用金属合金、歯科用陶材およびレジンに対して強力に接着し、良好な辺縁封鎖性を示しますので、接着性レジンセメントとして高い評価を受けています。

## スーパーボンド 筆積混和SEセット
Super-Bond SE

筆積法、混和法の両方でお使いいただけるセット構成になっています。
エナメル質・象牙質兼用のセルフエッチングプライマーにより、水洗操作が不要になりました。

クイックモノマー液 …… 1本(10mL)
キャタリストV …… 1本(0.7mL)
ポリマー粉末筆積F3 …… 1本(3g)
ポリマー粉末混和クリア …… 1個(3g)
ティースプライマー …… 1本(3mL)
スポンジ(L・S) …… 1箱
ダッペンスタンド(3穴) …… 1個
ディスポダッペンカップ …… 20枚
計量スプーン Standard …… 1本
ディスポ用筆柄(曲) …… 1本
ディスポチップ筆積L(ピンク)　1ケース(10本入り)
ディスポチップ筆積LL(紫) …… 1ケース(10本入り)
ディスポチップ筆積3L(オレンジ)　1袋(3本入り)
ディスポチップ混和(青) …… 1ケース(10本入り)

## スーパーボンド 筆積セット
Super-Bond Brush-dip technique

筆積法に特化したセット構成になっています。
筆積専用の粉材によりポリマー粉末の採取がより簡単になりました。

クイックモノマー液 …… 1本(10mL)
キャタリストV …… 1本(0.7mL)
ポリマー粉末筆積クリア …… 1本(3g)
表面処理材 高粘度レッド …… 1本(3mLシリンジ)
ダッペンスタンド(3穴) …… 1個
ディスポダッペンカップ …… 20枚
ディスポ用筆柄(曲) …… 1本
ディスポチップ筆積L(ピンク)　1ケース
ディスポチップ筆積LL(紫) …… 1ケース
ニードルチップ(23G) …… 5個
ニードルキャップ(赤) …… 1個

## スーパーボンド 混和セット
Super-Bond Bulk-mix technique

混和法に特化したセット構成になっています。
混和専用の粉材により、ダッペンディッシュを冷却しなくても常温(25℃以下)で使用できるようになりました。

クイックモノマー液 …… 1本(10mL)
キャタリストV …… 1本(0.7mL)
ポリマー粉末混和ティースカラー　1個(3g)
ポリマー粉末混和ラジオペーク … 1個(5g)
表面処理材 高粘度グリーン … 1本(3mLシリンジ)
ダッペンスタンド(3穴) …… 1個
ディスポダッペンカップ …… 20枚
計量スプーン Standard …… 1本
ディスポ用筆柄(曲) …… 1本
ディスポチップ混和(青) …… 2ケース
ニードルチップ(23G) …… 5個
ニードルキャップ(緑) …… 1個

## スーパーボンド C&Bセット
Super-Bond C&B

従来の構成品を継承した歴史あるセットです。

モノマー液 …… 1本(10mL)
キャタリストV …… 1本(0.7mL)
ポリマー粉末クリア …… 1個(3g)
ポリマー粉末ティースカラー …… 1個(3g)
表面処理材レッド …… 1本(5mL)
表面処理材グリーン …… 1本(5mL)
ダッペンディッシュ(陶器) …… 1個
スポンジ(L・S) …… 1箱
計量スプーン Standard …… 1本
計量スプーン Small …… 1本
ディスポ用筆柄(直) …… 1本
ディスポ用筆柄(曲) …… 1本
ディスポチップ筆積S(緑) …… 1ケース
ディスポチップ筆積L(ピンク) …… 1ケース
ディスポチップ混和(青) …… 2ケース

## スーパーボンドの構成品及び単品

### 重合触媒

キャタリストV
0.7mL

キャタリスト
0.7mL

### 液材

クイックモノマー液
10mL

モノマー液
10mL

### ポリマー粉末

混和クリア
3g

混和ティースカラー
3g

クリア
3g

ティースカラー
3g

アイボリー
3g

筆積クリア
3g

筆積F3
3g

混和ラジオペーク
5g

オペークアイボリー
3g

オペークピンク
3g

ラジオペーク
5g

## スーパーボンドの付属品及び単品

ダッペンスタンド
（3穴）

ディスポダッペンカップ
40枚

ダッペンディッシュ
（陶器）

スポンジ
（L・S）

ディスポチップ混和（青）
10本

ディスポチップ筆積S（緑）
10本

ディスポチップ筆積L（ピンク）
10本

ディスポチップ筆積LL（紫）
10本

ディスポチップ筆積3L（オレンジ）
10本

計量スプーン
Standard

計量スプーン
Small

計量スプーン
Large

ディスポ用筆柄
（曲）

ディスポ用筆柄
（直）

ディスポスプーン
10個

## 表面処理材

### 歯面

#### エナメル質

表面処理材レッド
5mL

表面処理材 高粘度レッド 3mL

ニードルチップ（23G）
50個
ニードルキャップ（赤）
2個

#### 象牙質（研削エナメル質を含む）

表面処理材グリーン
5mL

表面処理材 高粘度グリーン 3mL

ニードルチップ（23G）
50個
ニードルキャップ（緑）
2個

## 歯面処理材

### 歯面
（エナメル質・象牙質兼用）

ティースプライマー
3mL

## 関連製品

### 金属面
（金合金・Pd合金・白金加金等）

Vープライマー
3mL

### 陶材面
（ジルコニア・ポーセレン・硬化した硬質レジン）

スーパーボンド PZプライマー
A液 5mL
B液 5mL

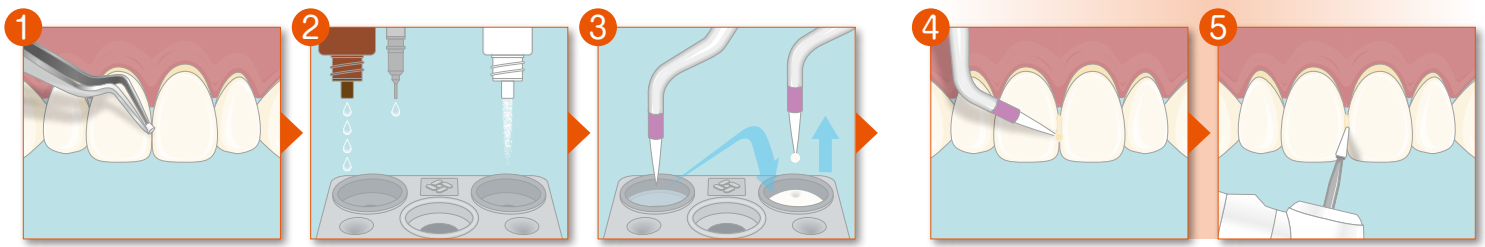
# 動揺歯固定（T-Fix）の場合（筆積法）

**キーポイント**

1. 活性化液（液材とキャタリストVを混合した液）は調製後、5分以内に使用を終了してください。
2. 活性化液を予め歯面に塗布するとスーパーボンドの馴染みが良くなります。
3. スーパーボンドの表面にポリマー粉末が浮いている場合は活性化液で表面をならしてください。
4. 研磨・咬合調整は5分以上待ってから行ってください。

## 接着操作手順

スーパーボンドの塗布から研磨・咬合調整まで
5分以上待つ



### 1 ティースプライマー塗布・乾燥

| 歯面処理材 | ティースプライマー |
|---|---|
| エナメル質・象牙質 | 20秒 |

水洗は不要。

※詳しくはP.28参照

### 2 ポリマー粉末・液材の採取

| 筆積F3 | 適量 |
|---|---|
| クイックモノマー液 | 4滴 |
| キャタリストV | 1滴 |

活性化液は使用直前に調製。
（活性化液は調製後、5分以内に使用する。）

### 3 筆の浸漬とポリマー粉末の採取

筆先に活性化液を十分に浸漬。
筆先1mmでゆっくりと円を描くように採取。

### 4 スーパーボンドの塗布

十分に硬化するまで咬合させないようにする。

### 5 硬化の確認・研磨・咬合調整

スーパーボンドを塗布して5分以上待ち、十分に硬化したことを確認。
その後、研磨・咬合調整。

**完　成**

# ジルコニアクラウン装着の場合（混和法）

**キーポイント**

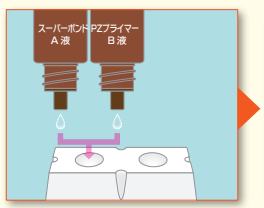
1. 活性化液（液材とキャタリストVを混合した液）にポリマー粉末を投入後は手早く混和してください。
2. 混和泥がサラサラの状態(糸引き前)の間に手早くクラウンを圧接してください。
3. 補綴物が浮き上がらないように、しっかりと保持してください。



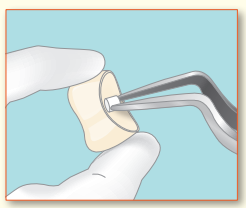
## 接着操作手順

### ●補綴物内面の表面処理●

[ジャケット冠]



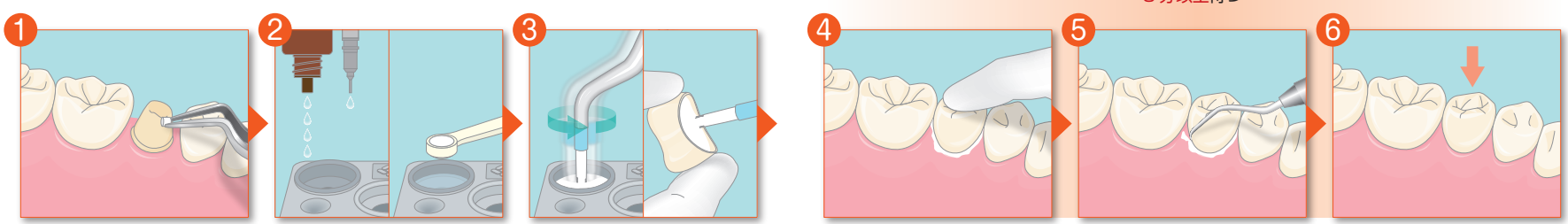

スーパーボンド PZプライマーの調製。
A液1滴とB液1滴を混合。



スーパーボンド PZプライマーの塗布と乾燥。

スーパーボンド PZプライマー

補綴物の圧接から硬化確認まで
8分以上待つ




**1 支台歯の表面処理**

| 歯面処理材 | ティースプライマー |
|---|---|
| エナメル質・象牙質 | 20秒 |

水洗は不要。
※詳しくはP.28参照

**2 ポリマー粉末・液材の採取**

| | |
|---|---|
| クイックモノマー液 | 4滴 |
| キャタリストV | 1滴 |
| 混和クリア | 1.0カップ |

液材を採取し、ポリマー粉末は直前に投入。

**3 混和・混和泥の塗布**

投入後は手早く混和。
室温が25℃を超える場合や、更に操作時間を延長したい場合は、ミキシングステーションを使用。
※詳しくはP.29参照

**4 補綴物の圧接・保持**

混和泥がサラサラの状態（糸引き前）までの間に手早く圧接。

**5 余剰セメントの除去**

余剰セメントが硬化するまでに除去を完了。
※詳しくはP.25参照

**6 加圧・硬化待ち**

十分に硬化したことを確認し、咬合調整。

完　成

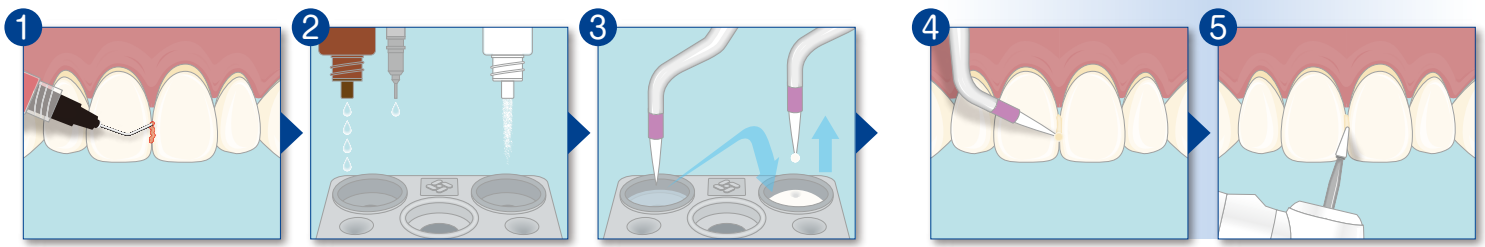
# 動揺歯固定の場合

**キーポイント**

1. 活性化液（液材とキャタリストVを混合した液）は調製後、5分以内に使用を終了してください。
2. 活性化液を予め歯面に塗布するとスーパーボンドの馴染みが良くなります。
3. スーパーボンドの表面にポリマー粉末が浮いている場合は活性化液で表面をならしてください。
4. 研磨・咬合調整は十分に硬化を待ってから行ってください。
（クイックモノマー液の場合は5分以上、モノマー液の場合は10分以上）

## 接着操作手順

スーパーボンドの塗布から研磨・咬合調整まで
5分以上待つ




### 1 エッチング・水洗・乾燥

| 表面処理材 | レッド・高粘度レッド |
|---|---|
| エナメル質 | 30~60秒 |

### 2 ポリマー粉末・液材の採取

| 筆積クリア | 適量 |
|---|---|
| クイックモノマー液 | 4滴 |
| キャタリストV | 1滴 |

活性化液は使用直前に調製。
（活性化液は調製後、5分以内に使用する。）

### 3 筆の浸漬とポリマー粉末の採取

筆先に活性化液を十分に浸漬。
筆先1mmでゆっくりと円を描くように採取。

### 4 スーパーボンドの塗布

十分に硬化するまで咬合させないようにする。

### 5 硬化の確認・研磨・咬合調整

スーパーボンドを塗布して5分以上待ち、十分に硬化したことを確認。
その後、研磨・咬合調整。

**完　成**

# ブラケット装着の場合

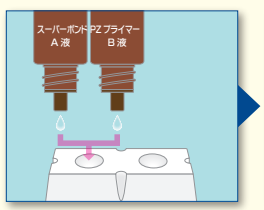
**キーポイント**

1. 活性化液（液材とキャタリストVを混合した液）は調製後、5分以内に使用を終了してください。
2. 活性化液を予め歯面に塗布するとスーパーボンドの馴染みが良くなります。
3. ブラケット圧接後は、位置を動かさないでください。
4. ワイヤーの装着は十分に硬化を待ってから行ってください。

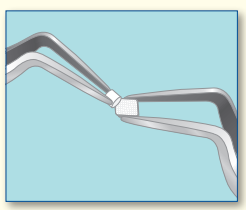
## 接着操作手順

### ●各種ブラケットの表面処理●

［陶材ブラケット］




スーパーボンド PZプライマーの調製。
A液1滴とB液1滴を混合。



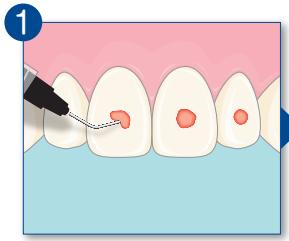
スーパーボンド PZプライマーの塗布と乾燥。

スーパーボンド PZプライマー

［その他のブラケット］

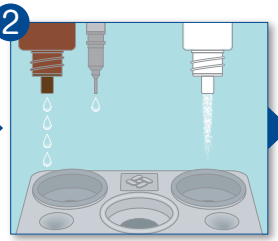
金属及びプラスチックブラケットの表面処理は必要ありません。

ブラケットの圧接から硬化の確認まで
5 分以上待つ



1 エッチング・水洗・乾燥

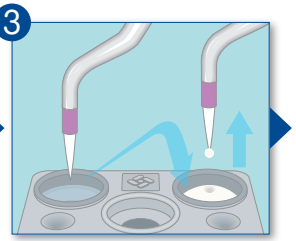
| 表面処理材 | レッド・高粘度レッド |
|---|---|
| エナメル質 | 30～60秒 |



2 ポリマー粉末・液材の採取

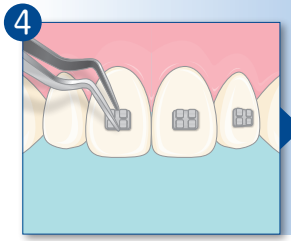
| 筆積クリア | 適量 |
|---|---|
| クイックモノマー液 | 4滴 |
| キャタリストV | 1滴 |

活性化液は使用直前に調製。
（活性化液は調製後、5分以内に使用する。）



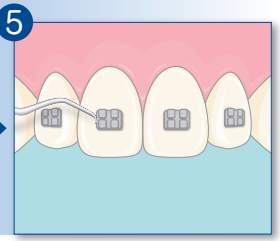
3 筆の浸漬とポリマー粉末の採取

筆先に活性化液を十分に浸漬。
筆先1mmでゆっくりと円を描くように採取。



4 スーパーボンドの塗布・圧接

スーパーボンドをブラケットに塗布し、手早く歯面に圧接・保持。



5 硬化の確認

スーパーボンドを塗布して5分以上待ち、十分に硬化したことを確認。

**完　成**

# ブリッジ装着の場合

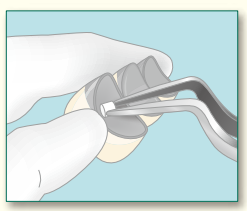
**キーポイント**

1. 活性化液（液材とキャタリストVを混合した液）にポリマー粉末を投入後は手早く混和してください。
2. 混和泥がサラサラの状態（糸引き前）の間に歯面に圧接してください。
3. 補綴物が浮き上がらないように、しっかりと保持してください。

## 接着操作手順

### ●補綴物内面の表面処理●

［前装冠］

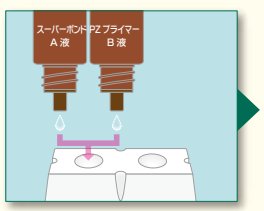


サンドブラスト処理後、Vープライマーの塗布。

Vープライマー

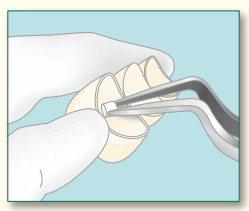
非貴金属及び銀合金はVープライマーの塗布は必要ありません。（サンドブラスト処理のみ）

［ジャケット冠］




スーパーボンド PZプライマーの調製。

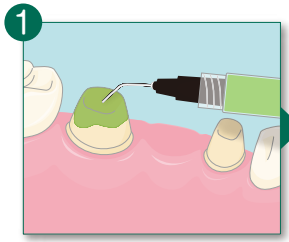
A液1滴とB液1滴を混合。



スーパーボンド PZプライマーの塗布と乾燥。

スーパーボンド PZプライマー

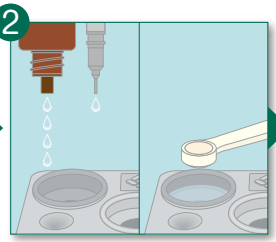
補綴物の圧接から硬化確認まで
8分以上待つ



**1 エッチング・水洗・乾燥**

| 表面処理材 | グリーン・高粘度グリーン |
|---|---|
| 象牙質 | 5～10秒 |

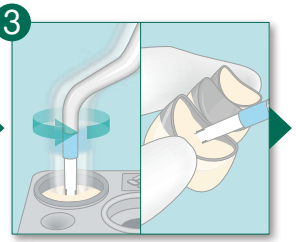
レッド・高粘度レッドは使用不可



**2 ポリマー粉末・液材の採取**

| | |
|---|---|
| クイックモノマー液 | 4滴 |
| キャタリストV | 1滴 |
| 混和ティースカラー | 1.0カップ |

液材を採取し、ポリマー粉末は直前に投入。

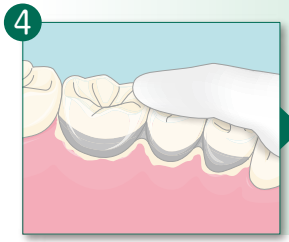


**3 混和・混和泥の塗布**

投入後は手早く混和し、直ちに塗布。

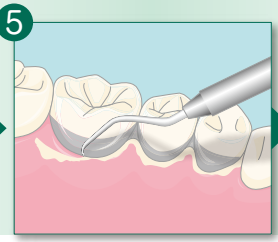
室温が25℃を超える場合や、更に操作時間を延長したい場合は、ミキシングステーションを使用。

※詳しくはP.29参照



**4 補綴物の圧接・保持**

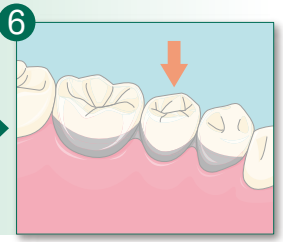
混和泥がサラサラの状態（糸引き前）までの間に手早く圧接。



**5 余剰セメントの除去**

余剰セメントが硬化するまでに除去を完了。

※詳しくはP.25参照



**6 加圧して硬化待ち**

十分に硬化したことを確認し、咬合調整。

完　成

# コア装着の場合

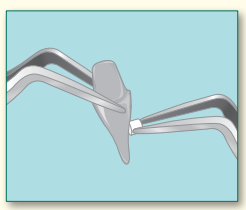
**キーポイント**

1. 活性化液（液材とキャタリストVを混合した液）にポリマー粉末を投入後は手早く混和してください。
2. 混和泥がサラサラの状態(糸引き前)の間に手早くコアを圧接してください。
3. コアが浮き上がらないように、しっかりと保持してください。

## 接着操作手順

### ●ポストコア体の表面処理●

［金属ポストコア］

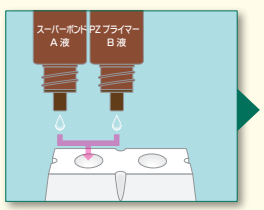


サンドブラスト処理後、Vープライマーの塗布。

Vープライマー

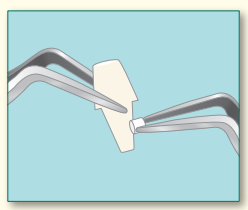
非貴金属及び銀合金はVープライマーの塗布は必要ありません。（サンドブラスト処理のみ）

［ファイバーポストコア］




スーパーボンド PZプライマーの調製。

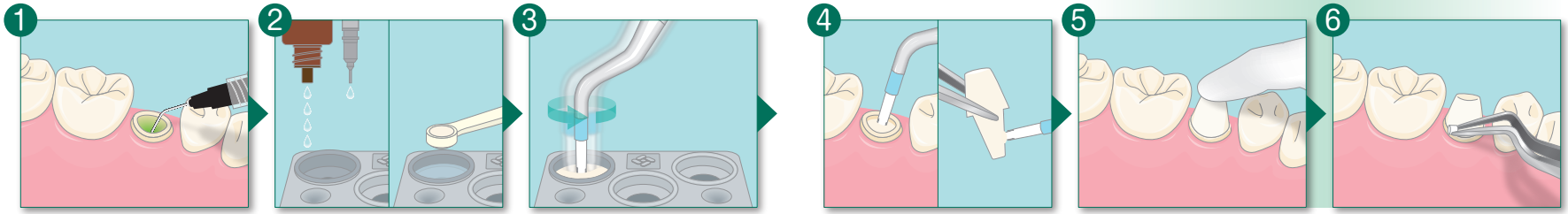
A液1滴とB液1滴を混合。



スーパーボンド PZプライマーの塗布と乾燥。

スーパーボンド PZプライマー

ポストコアの圧接から硬化確認まで
9分以上待つ



**1 エッチング・水洗・乾燥**

| 表面処理材 | グリーン・高粘度グリーン |
|---|---|
| 象牙質 | 5～10秒 |

レッド・高粘度レッドは使用不可

次亜塩素酸処理後に接着操作を行う場合は、事前にアクセルを使用。

※詳しくはP.28参照

**2 ポリマー粉末・液材の採取**

| | |
|---|---|
| クイックモノマー液 | 4滴 |
| キャタリストV | 1滴 |
| 混和ラジオペーク | 1.0カップ |

液材を採取し、ポリマー粉末は直前に投入。

**3 混和**

投入後は手早く混和。

室温が25℃を超える場合や、更に操作時間を延長したい場合は、ミキシングステーションを使用。

※詳しくはP.29参照

**4 混和泥の塗布**

手早く塗布。

**5 ポストコアの圧接・保持**

混和泥がサラサラの状態（糸引き前）までの間に手早く圧接し、保持する。

**6 余剰セメントの除去・硬化待ち**

余剰セメントが完全に硬化するまでに除去を完了し、硬化待ち。十分に硬化したことを確認する。

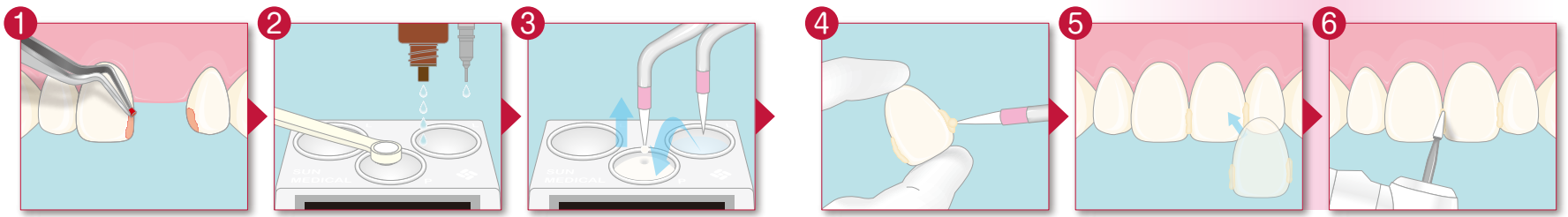
**完　成**

# ダイレクトボンドブリッジの場合（筆積法）

**キーポイント**

1. 活性化液（液材とキャタリストVを混合した液）は調製後、5分以内に使用を終了してください。
2. 少し大きめのアクリルレジン歯を適用してください。
3. アクリルレジン歯のコンタクト面を削去して接着面を露出させてください。
4. 研磨・咬合調整は十分に硬化を待ってから行ってください。
（モノマー液の場合は10分以上、クイックモノマー液の場合は5分以上）

## 接着操作手順



### 1 エッチング・水洗・乾燥

| 表面処理材 | レッド・高粘度レッド |
|---|---|
| エナメル質 | 30～60秒 |

### 2 ポリマー粉末・液材の採取

| | |
|---|---|
| クリア | 適量 |
| モノマー液 | 4滴 |
| キャタリストV | 1滴 |

活性化液は使用直前に調製。
（活性化液は調製後、5分以内に使用する。）

### 3 筆の浸漬とポリマー粉末の採取

筆先に活性化液を十分に浸漬。
筆先1mmでゆっくりと円を描くように採取。

### 4 スーパーボンドの塗布

アクリルレジン歯の接着面にスーパーボンドを塗布。
硬質レジン歯の場合は、事前にスーパーボンド PZプライマーを塗布。

### 5 レジン歯の装着・保持

スーパーボンドをレジン歯に塗布後、手早く装着・保持。
場合によっては、スーパーボンドを追加塗布。

レジン歯の装着から硬化確認まで
10 分以上待つ

### 6 研磨・咬合調整

スーパーボンドが十分に硬化したことを確認し、研磨・咬合調整。

**完　成**

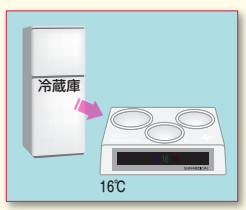
# クラウン装着の場合（混和法）

**キーポイント**

1. ダッペンディッシュ（陶器）は必ず冷却して低温下でご使用ください。
2. 冷却したダッペンディッシュ（陶器）の結露は拭き取ってください。
3. 混和泥がサラサラの状態（糸引き前）の間に支台歯に圧接してください。

## 接着操作手順

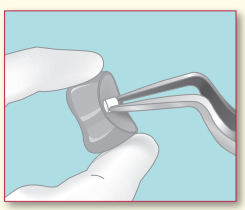
### ●ダッペンディッシュ（陶器）の冷却●




ダッペンディッシュ（陶器）を事前に冷蔵庫で冷却。

### ●補綴　物内面の表面処理●

［メタルクラウン及び前装冠］

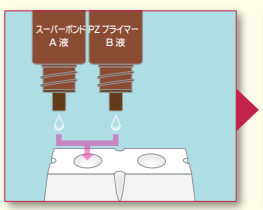


サンドブラスト処理後、Vープライマーの塗布。

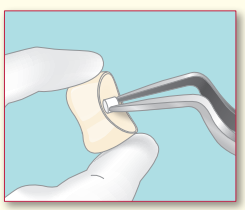
Vープライマー

非貴金属及び銀合金はVープライマーの塗布は必要ありません。（サンドブラスト処理のみ）

［ジャケット冠］



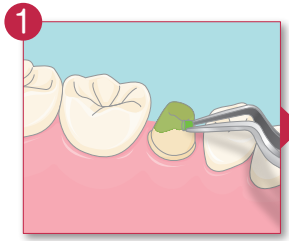

スーパーボンド PZプライマーの調製。
A液1滴とB液1滴を混合。



スーパーボンド PZプライマーの塗布と乾燥。

スーパーボンド PZプライマー

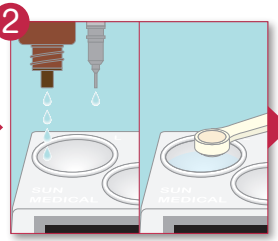
補綴物の圧接から硬化確認まで
12分以上待つ



**1 支台歯の表面処理**

| 表面処理材 | グリーン・高粘度グリーン |
|---|---|
| 象牙質 | 5～10秒 |

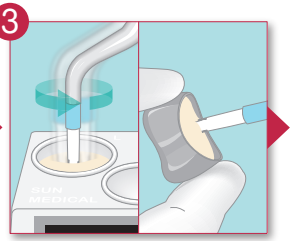
レッド・高粘度レッドは使用不可



**2 ポリマー粉末・液材の採取**

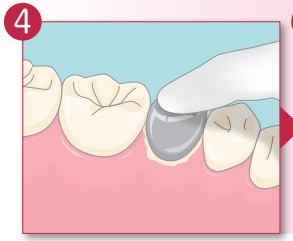
| | |
|---|---|
| モノマー液 | 4滴 |
| キャタリストV | 1滴 |
| ティースカラー | 1.0カップ |

ダッペンディッシュ（陶器）は事前に冷却。
液材を採取し、ポリマー粉末は直前に投入。



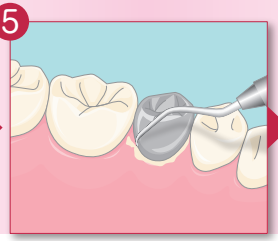
**3 混和・混和泥の塗布**

投入後は手早く混和し、直ちに塗布。
更に操作時間を延長したい場合は、ミキシングステーションを使用。
※詳しくはP.29参照



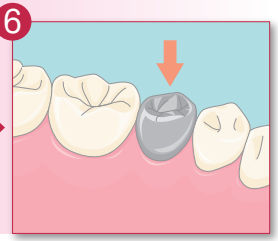
**4 補綴物の圧接・保持**

混和泥がサラサラの状態（糸引き前）までの間に手早く圧接。



**5 余剰セメントの除去**

余剰セメントが硬化するまでに除去を完了。
※詳しくはP.25参照



**6 加圧・硬化待ち**

十分に硬化したことを確認し、咬合調整。

完　成

C&Bセット

# 筆積法の操作時間と硬化時間

## 筆積法の**操作**時間

ポイント1

**液材とキャタリストVは使用直前に採取**し、
すみやかにご使用ください。

ポイント2

ポリマー粉末・液材の種類に関わらず、活性化液（液材＋キャタリストV）は**5分**以内に使用を終了してください。

※活性化液は調製直後から時間の経過と共に活性が低下し、硬化時間が長くなります。

ポイント3

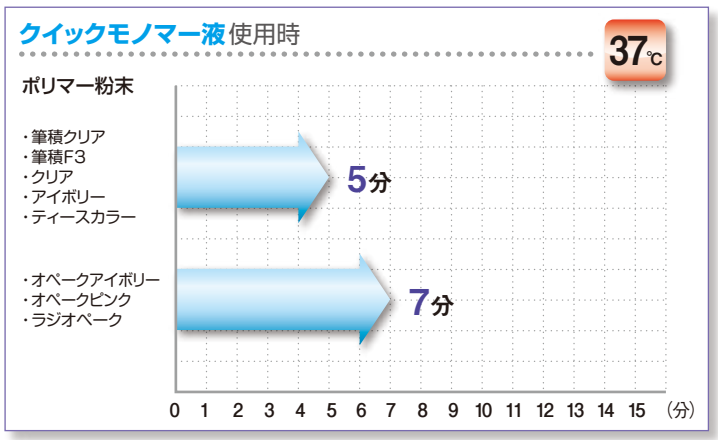
**先にポリマー粉末を採取**しておくと、
作業がスムーズになります。

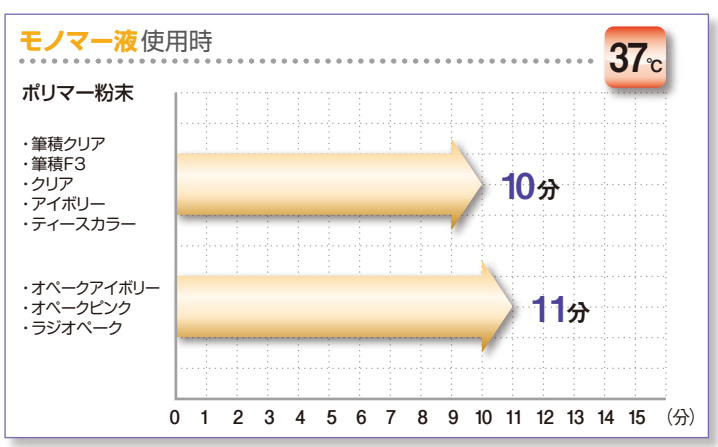


## 筆積法の**硬化**時間

筆でポリマー粉末を採取してから硬化し、咬合調整ができるまでの時間（目安）です。

※温度環境などにより硬化時間は変化しますので、十分な硬化時間を確保してください。

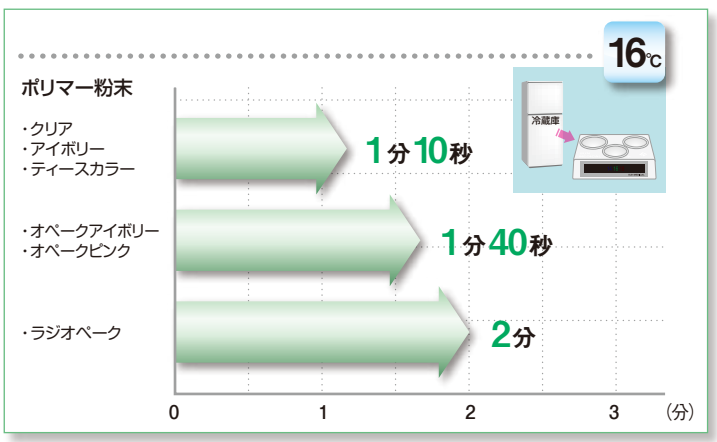


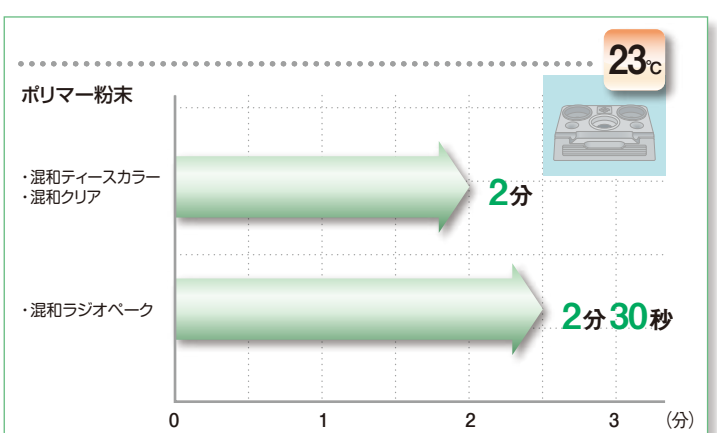
# 混和法の操作時間と硬化時間

## 混和法の**操作**時間

ポリマー粉末・液材を混ぜてからサラサラ（糸引き前）状態の時間です。




※上記のポリマー粉末を使用する場合は、冷却したダッペンディッシュ（陶器）をご使用ください。
※16℃ではモノマー液、クイックモノマー液で、操作時間に違いはありません。



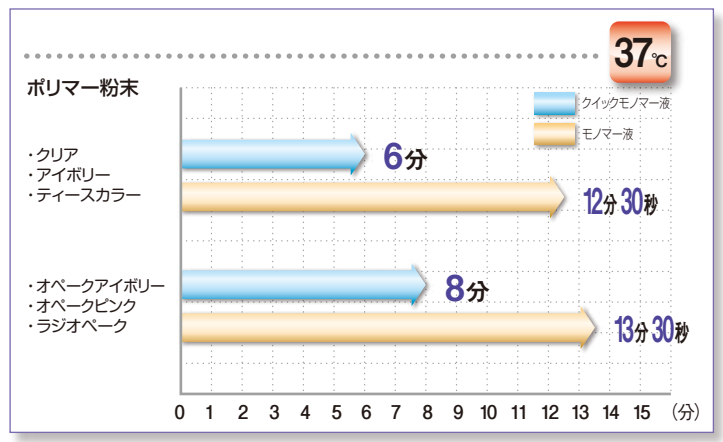

※室温が25℃を超える場合や、更に操作時間を延長したい場合は、ミキシングステーションを使用してください。

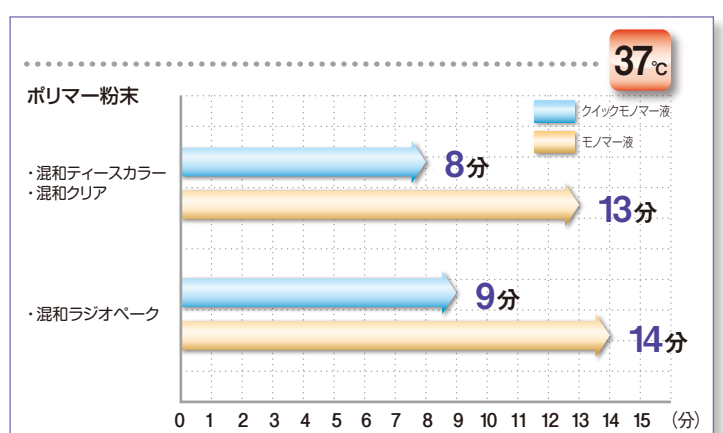


## 混和法の**硬化**時間

混和泥を支台歯に圧接してから硬化し、咬合調整ができるまでの時間（目安）です。

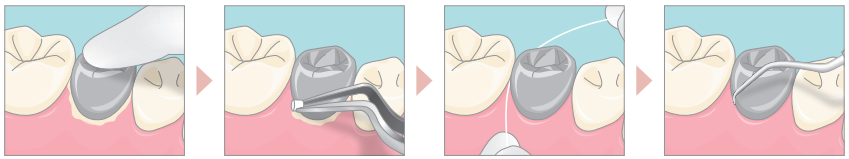
※温度環境などにより硬化時間は変化しますので、十分な硬化時間を確保してください。



# One Point Advice
ワンポイントアドバイス

## 1 余剰セメントを上手く取るには?
弊社ウェブサイトにて動画で余剰セメントの取り方をご覧頂けます。



圧接して余剰セメントがはみ出ている。

装着直後、固く絞ったアルコール綿球で大まかに余剰セメントを除去。

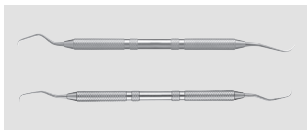
装着後柔らかい間に、フロスでコンタクトと歯間乳頭部の余剰セメントを絡め取る。

ポケットや補綴物についた取り残しの余剰セメントを余剰セメント除去器で除去。

### 余剰セメント除去に便利なツール

**スーパーボンド セップ**

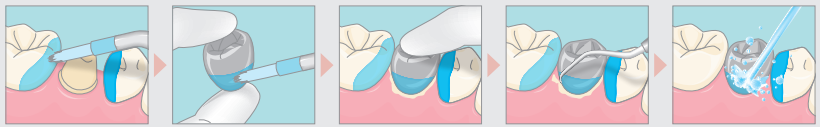
予め補綴物に「スーパーボンド セップ」を塗布しておくと、その上にはみ出した余剰セメントが楽に除去できます。



**余剰セメント除去器(株式会社YDM)**

先端に小さな刃がついているので、硬化した余剰セメントも除去しやすい器具です。

### スーパーボンド セップの操作手順



余剰セメントが付着しそうな隣在歯に予め塗布し、乾燥する。

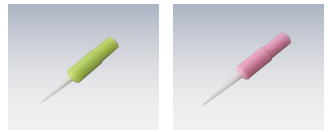
クラウン外面、マージン上部に予め分離材を塗布し、乾燥する。

スーパーボンドにより補綴物を装着する。

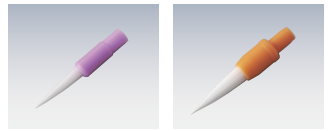
硬化後、余剰セメント除去器を用いて余剰セメントを除去する。

残っている分離材を水洗除去する。

## 2 上手く筆積できないのですが?

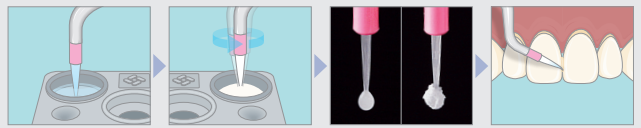


ピンポイントに筆積したい方は・・・
ディスポチップ筆積S(緑)・筆積L(ピンク)をお使いください。



大きなポリマー玉で一気に筆積したい方は・・・
ディスポチップ筆積LL(紫)・筆積3L(オレンジ)をお使いください。

### 上手なポリマー粉末の採取方法



筆に十分に活性化液を浸み込ませる。

筆先1mmでゆっくりと円を描くように採取。

良い例　悪い例

もしポリマー粉末が浮いてしまったら、活性化液を上から塗布して表面をならす。

## 3 筆に付着したスーパーボンドを清掃するには?

新しい筆先にお取り替えください。

専用の「スーパーボンド 筆洗い液II」をご使用ください。
洗い終わった後は筆先を整えて乾燥してください。
詳しくはスーパーボンド 筆洗い液IIの取扱説明書をご参照ください。

## 4 ジルコニア・メタルに接着するには?

**スーパーボンド PZプライマー**

スーパーボンド PZプライマー処理で陶材·無機フィラー含有のコンポジットレジンはもちろん、ジルコニア·オールセラミックスにも接着することができます。

スーパーボンド PZプライマー処理によるスーパーボンドの陶材に対する接着強さ

| ポーセレン (#600エメリー紙研磨面) | プライマー | 接着強さ (MPa) |
|---|---|---|
| VITA VMK マスター (VITA) | スーパーボンド PZプライマー | 16 |
| IPS e-max Press (Ivoclar vivadent) | | 23 |

*熱サイクル試験 (耐久性試験) : TC10,000回後

スーパーボンド PZプライマー処理によるスーパーボンドのジルコニアに対する接着強さ

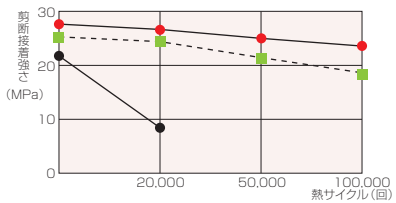
| ジルコニア (#600エメリー紙研磨後サンドブラスト処理面) | プライマー | 接着強さ (MPa) |
|---|---|---|
| Procera AllZircon (Nobel Biocare) | スーパーボンド PZプライマー | 30 |
| カタナ (クラレノリタケ) | | 25 |
| Lava (3M ESPE) | | 25 |

*熱サイクル試験 (耐久性試験) : TC10,000回後

**Vーブライマー**

非貴金属 (Ti合金·Ni-Cr合金等) 及び銀合金には前処理無しで接着します。
貴金属 (金合金·Pd合金·白金加金等) にはVーブライマー処理で接着できます。
※アルミナサンドブラストは必須です。

金銀パラジウム合金との接着耐久性




注) 被着体 : 金銀パラジウム合金。表面を50μmアルミナサンドブラスト処理し、Vーブライマー他で前処理後、スーパーボンドで硬質レジンを接着。



## 5 ティースプライマーの特徴は?

**ティースプライマー**

ティースプライマーはエナメル質·象牙質兼用のセルフエッチングプライマーです。
水洗不要で、エアーブローの強弱や処理時間の影響を受けにくいプライマーです。
ティースプライマーは冷蔵庫内 (1℃~10℃) で保管してください。

## 6 表面処理材レッド・グリーンの特徴は?

**左 : 表面処理材レッド　右 : 表面処理材 高粘度レッド**

表面処理材レッド及び高粘度レッドはリン酸水溶液です。エナメル質専用の表面処理材です。
高粘度レッドはシリンジから直接歯面に塗布できます。

**左 : 表面処理材グリーン　右 : 表面処理材 高粘度グリーン**

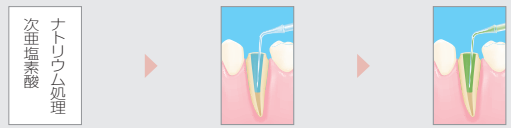
表面処理材グリーン及び高粘度グリーンはクエン酸·塩化第二鉄の水溶液です。象牙質用 (研削エナメル質を含む) の表面処理材です。
高粘度グリーンはシリンジから直接歯面に塗布できます。

## 7 次亜塩素酸ナトリウム処理後にスーパーボンドを使いたい場合の前処理は?

**アクセル**

次亜塩素酸ナトリウム処理後はスーパーボンドの接着力が低下しますので、歯面処理材アクセルをお使いください。
アクセルによりスーパーボンドの接着力が回復します。

アクセルの操作手順




## 8 上手く混和泥を移送する方法は?

混和用ディスポチップをお使いください。
混和用ディスポチップをお使い頂くことで混和泥が移送しやすくなります。

## 9 すぐに糸を引いてしまい十分な操作時間が取れないのですが?

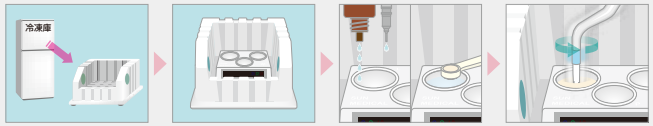
□混和用ポリマー粉末をご使用頂くことで十分な操作時間が確保できます。
それ以外のポリマー粉末の場合はダッペンディッシュ(陶器)を十分に冷却してご使用ください。

□ポリマー粉末とクイックモノマー液又はモノマー液は適正な比率でご使用ください。
ポリマー粉末の比率が多いと硬化時間が短くなります。

□ダッペンディッシュ(陶器)をご使用になる場合は結露を拭き取ってください。

□混和用ポリマー粉末使用時でも、室温が25℃を超える場合や、更に操作時間を延長したい場合は、ミキシングステーションをご使用ください。

### ミキシングステーションの使用方法




予め冷凍庫(フリーザー)でミキシングステーションを8時間程度冷却する。

取り出したミキシングステーションに常温のダッペンディッシュ(陶器)又は、ダッペンスタンド(3穴)をセットする。

3分程度冷却して、十分に温度が下がったら、ポリマー粉末・液材の調合を開始する。

ミキシングステーション内で混和操作を行う。
その際、補綴物の冷却を同時に行うとより効果的。

## 10 スーパーボンドが硬化しないのですが?

□使用期限が切れていませんか?
使用期限内のものをご使用ください。

□ポリマー粉末を出したままにしていませんか?
古いポリマー粉末を廃棄し、新しいものをご使用ください。

□活性化液を調製してから5分以上経過していませんか?
古い活性化液を破棄し、調製し直してください。

□キャタリストVは滴下されましたか?
キャタリストVを滴下して活性化液を調製してください。

□ポリマー粉末とクイックモノマー液又はモノマー液の比率は適正ですか?
ポリマー粉末の比率が減ると硬化が遅くなります。

## 11 上手く接着しないのですが?

□接着面の前処理は適切ですか?
接着面に合った前処理を行ってください。

□唾液などで汚染されていませんか?
汚染された接着面を清掃して、再度接着操作を行ってください。

□混和泥が糸引き状態になっていませんか?
糸引き前のサラサラの状態で接着操作を行ってください。

□十分に硬化していない段階で研磨や咬合調整をしていませんか?
研磨・咬合調整は十分に硬化してから行ってください。



### キャタリストVの取り扱いについて

注意 多湿、直射日光、火気、極端な温度変化を避け、**室温**(1℃～30℃)または**冷蔵庫内**(1℃～10℃)で保管してください。

注意 キャタリストV使用後、押しネジを2回転ほど戻してください。
内圧による液漏れが少なくなります。

注意 キャタリストVをこぼしてしまったら、必ず**水で濡らしたガーゼ**などで拭き取ってください。
乾いたガーゼやティッシュで拭き取ると発火することがあります。

| 一般的名称 | 販　売　名 | 医療機器認証番号 | 機器分類 |
|---|---|---|---|
| 歯科接着用レジンセメント | スーパーボンド | 221AABZX00115000 | 管理医療機器 |
| 歯面処理材 | ティースプライマー | 222AFBZX00100000 | 管理医療機器 |
| 歯科用エッチング材 | 表面処理材レッド | 21600BZZ00588000 | 管理医療機器 |
| 歯科用エッチング材 | 表面処理材 高粘度レッド | 21200BZZ00294000 | 管理医療機器 |
| 歯科用エッチング材 | 表面処理材グリーン | 21600BZZ00589000 | 管理医療機器 |
| 歯科用エッチング材 | 表面処理材 高粘度グリーン | 21600BZZ00590000 | 管理医療機器 |
| 歯科金属用接着材料 | Vープライマー | 20600BZZ00452000 | 管理医療機器 |
| 歯科セラミックス用接着材料 | スーパーボンド PZプライマー | 224AFBZX00102000 | 管理医療機器 |
| 歯面処理材 | アクセル | 21700BZZ00037000 | 管理医療機器 |

| 一般的名称 | 販　売　名 | 医療機器届出番号 | 機器分類 |
|---|---|---|---|
| 歯科用分離材 | スーパーボンド セップ | 25B2X00005000001 | 一般医療機器 |